

分野：健康づくり【自分自身の体験から「健康維持」「環境改善」の重要性を説く】

ノン・ダイオキシン活動 無添加ハウス

所在地	北九州市八幡東区大宮町10-15
代表者	下村 明魅
設立年月	平成13年10月
スタッフ数	15名
TEL/FAX	TEL&FAX: 093-662-5637
ホームページ	http://www.geocities.jp/mutenkhouse2005/

事業の概要・効果

「無添加ハウス」は、アトピー患者が自分の体験をもとに、自分たちが知っている良い商品・必要な情報をカタログで紹介することから始まった情報発信基地です。

当初は、アトピーに関して、勉強をしておりましたが、勉強を進めるうちにそれらの原因がわかってくると「元からたたなきやだめ」という状態にあることを理解し、次世代の子どもや孫達のために、地域の環境や自然・健康を見つめ、今、自分達ができることをほんの少しずつ始めました。

現在、「ノン・ダイオキシン活動」として、地産地消の無農薬・無化学肥料野菜や安全・安心な健康食品、水洗いクリーニングの紹介・仲介などを行っています。（農薬やクリーニングでダイオキシンが発生）

無添加ハウスは、直営店舗がないため、人と人の信頼のネットワークの上で成り立っており、顔が見える関係のなかで、事業展開を図っています。

情報発信として、北九州市小倉のバーパス（温浴施設）で定期的に“産直市”を開催し、商品販売の機会を得たり、年間を通して多様なイベントに参加することで、無添加ハウスの情報発信ができ、ネットワークが充実してきました。このネットワークにより、お互いの信頼関係のもとで、ニーズに合ったものを提供できるようになり、事業の大きな効果となっています。

事業化のきっかけ

下村さん自身の体験として、30歳で子宮筋腫、31歳でメヌエル氏病、32歳でアトピー性皮膚炎になり、前厄、本厄、後厄と3年連続で襲ってきました。

その時、病院は対処療法で、根本治癒はしてくれない、と自分の病気体験によって、根本治癒の重要性に気がつき、土佐清水病院の丹羽先生と出会い、多くの病気が環境汚染や現代人の生活習慣の間違いから起こっていると教えられ、「目からウロコ！」の状況で丹羽治療を取り入れ、丹羽先生開発の食品を食べ始めました。

しかし、「食事療法」のつらさは想像以上で、

何よりも辛かったのは、相談したり、助け合ったりする仲間がいなかった点。同じ思いをしているグループなどを探しましたが、北九州では見つからず、だったら、自分で作ればいいと「アトピーの会」を1人で立ち上げ、やがて思いが通じ仲間が集まり、食事の大切さや環境改善の必要性を会報などで配るようになりました。



『無添加ハウス』ニュース

■ 事業化に至ったプロセス

丹羽治療は、食生活を正し、毎日の睡眠時間、ストレスをコントロールし、環境汚染物質である活性酸素やダイオキシンを体内から除去する食品を食べるというもので、アトピーの改善は勿論のこと、持っていた生理痛、冷え性、子宮筋腫、便秘、花粉症、メヌエル氏病、偏頭痛などが改善され、その効果に驚き、同じ症状で困っている人がいれば紹介する様になり、会報も好評でしたが、好評になるほど、出費がかさみ、「主婦には限界がある。起業しよう！」と37歳で通信販売の「無添加ハウス」を設立。資金はゼロ、10万円の貯金からのスタートでしたが、「何とかなる」という気持ちで「自分の経験や学んだことを多くの人に伝えることが自分の仕事である」をモットーに事業展開を図っています。

■ ターゲット

アトピーでお悩みの方が約50%
気になる症状緩和の方が約50%

■ 事業展開エリア

北九州市を中心に全国展開を行っています。

■ 組織体制

非常勤で約15名のスタッフがいますが、皆さん主婦であるため、状況によって動ける時と動けない場合があります。(会員は400名)

■ 事業内容 (取り扱い商品など)

- 「健康維持」のための<活性酸素対策商品>
- 「ダイオキシシ」 「活性酸素」を身体から出す<穀物加工発酵食品>
- 「食と農 改善」・「地産地消」のための若松のサークルファーム吉永の<無農薬・無化学肥料栽培野菜>
- 「水による健康維持」を図る<マイナスイオン原液><創生水>
- 「紫外線」「敏感肌」を意識した<抗酸化SO

D化粧品>

- 「環境改善」のため<洗剤不要の洗濯リング><安全な水(創生水)でのクリーニング>など

■ 事業規模

過去3年間の平均としては、年間収益は約500万円ほどです。

商品のサンプル代や会報作成費、配送費などの支出があるので、一般の企業と異なり、大きな利益を出しているわけではありません。

■ 資金調達

自己資金10万円でスタートし、商品の注文によって仕入れるため、銀行などの借入れはありません。

■ 事業の課題とポイント

経営理念として、「顔が見える関係」で人と人とのつながりの中で事業を展開しており、大きく事業を拡大することを目指しているわけではないので、「身の丈に合った事業展開規模」という点で成功しているのではないかと思います。

課題は、スタッフさんと呼んでいますが、皆さん商品の愛好者であり、主婦である点から、“ビジネス”という感覚が薄く、仕事として関わっている意識があまりなく、“ビジネス”としての意識を持っていただく点で経営の難しさを感じています。

① 方針

スローガンとして、「お客様の身になって、必要な物(情報も)を必要な時に！」を掲げ運営しています。

② 情報発信

- 「無添加ハウス」ニュースを毎月会員向け発行
- 無添加ハウスのホームページ
- インターネットテレビ「北九州市市民放送局」(北九州国際自然大学校開設)のブログ参加

③ 支援者・ネットワーク

生涯学習グループ エンドレス
自然療法の「ゆり根の会」
女性の健康を考える会
食農塾
NPO法人「えふネット福岡」
精神福祉ボランティア団体 浅ぼらけ

来年度以降の事業の発展イメージ

無添加の家を建て、皆が集い、語り合える空間を創り、スタッフの能力を伸ばし、いろんな知識を身につけていただき、健康や環境改善に関して、情報が必要な人に的確な情報を発信できるような体制づくりを目指してまいります。

無添加ハウスのある日の店開きの様子



★JAS 認定を受けている無農薬・無化学肥料栽培農家の野菜の販売

「血液がサラサラと流れるためにも、良いお野菜を食卓に！」

- ・おいしい野菜を、本物のお塩で食べて欲しいので、海洋深層水のお塩
- ・無農薬茶のルイボスティー
- ・びんろう樹の樹液を煮詰めて作った無添加のミネラルたっぷりのびんろう糖
- ・お塩と、ルイボスティーと、びんろう糖の健康ギフトセット
- ・毎日少し取ると健康維持の役に立つといわれるゴマや胚芽など10種類が入っている

★穀物加工食品のSOD食品(抗酸化食品)の販売

- ・醗酵させてある低分子の丹羽アガリクス

★下村さん主催「ニワ式アトピーの会」の資料展示

